

事務事業評価票 [市単独補助金]

平成 27 年度

担当課 しまばら観光おもてなし課

基本事項	補助金(事業)名	島原温泉観光協会補助金				整理番号	1573
	根拠法令等	島原市観光振興事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる ▼	予算科目	7 款 1 項 3 目	●継続	○新規	
	節 第4節 観光業の振興 ▼	区分	団体の運営費に対するもの ▼				
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原温泉観光協会				実施期間	●昭和 ○平成 30 年度から ○昭和 ○平成 年度まで
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	<p>観光事業の振興を図るため、島原市及びその近郊における観光に關係を有する各種団体並びに關係業者、その他協会の目的に賛同する者をもって設立された。</p> <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の調査研究に関する事項 ・宣伝紹介、施設、接遇及び観光事業の普及等に関する連絡協調並びに指導誘致に関する事項 ・観光施設の計画改善整備の促進に関する事項 ・島原文化の宣揚に関する事項 ・その他協会の目的達成上必要と認める事項 					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	<p>本市観光の振興に寄与するために、本市を訪れる観光客の方に、島原の魅力発信やPRを行ったり、市内潜在型観光の推進を図ることにより、宿泊客やリピーターの増加などを見込む。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般客、修学旅行、コンベンション誘致を中心に、観光客誘致宣伝活動を行う。 ・行政並びに観光連盟との連携した誘致活動を行う。 ・観光客誘致体制の整備と促進を行う。 ・観光客のニーズを捉えた情報発信を行う。 ・花火大会やツーデーマーチなど各種イベントを開催し、誘客促進を図る。 					
事業費等の推移	補助金交付内容等 (積算基礎等)	<p>①観光案内所への職員配置 ②観光PR、観光客誘致事業</p>					
事業費等の推移	年度区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 実績	27年度 予算額	
	補助金交付額(千円)	1,440	5,652	3,410	5,920	8,639	
	① 団体等事業費(千円)	21,270	27,653	23,031	27,072	27,700	
	② 歳入内訳 (千円)	3,360	3,446	3,427	3,366	3,400	
	前年度繰越金	942	1,549	761	836	▲ 202	
	市補助金	1,440	5,652	3,410	5,920	8,639	
	その他の助成金	5,350	5,900	4,850	4,712	3,656	
	その他雑収入	11,727	11,867	11,419	12,036	12,207	
	次年度繰越金 (②-①)	1,549	761	836	▲ 202	0	
26年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目		金額	項目		金額		
人件費		13,147					
会議費(総会費、役員会費)		330					
事業費(花火大会、ツーデーマーチ、広告費等)		11,015					
諸支出(各団体会費等)		761					
事務所費		1,615					
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	観光案内所等への職員配置については、観光客に対し島原ならではのおもてなしを実施することで好評いただいており、リピーターにも繋がっている。(特に、四明莊を訪れる観光客数は年々増加)また、各種イベントについては、観光客の誘客に繋がっている。
② 市の関与の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	観光案内所等への職員配置については、島原の魅力を発信するために必要不可欠と考えているが、人件費を要するため、市の関与(財源負担)が必要と考える。
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直し必要性	<input type="radio"/> 見直しの必要はない <input checked="" type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	島原温泉観光協会に対する各種補助金の統廃合など改善の余地がある。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input type="radio"/> A 繼続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む)	<input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B4 他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 → () → ()
		島原温泉観光協会に対する各種補助金について、統廃合するなど改善の余地があるため。	
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1~B4の場合)	課 題 見 直 し の 方 向 性	島原温泉観光協会に対する各種補助金について観光協会の組織・体制の充実を図るために必要な財源等の確保により、行政と観光協会の役割を明確化し(業務の棲み分けを行い)、双方の業務の円滑化・効率化を図る。 必要に応じ各種補助金を統廃合することで、観光協会の業務の効率が上がることが想定される。	

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備 考	観光振興を図る上で極めて重要な組織であり、職員体制の見直し強化並びに島原半島観光連盟や島原城振興協会など、観光振興を目的とする同種他団体との連携・強化を図りながら事業を推進していくことが不可欠と考える。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況(□)					
<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の削減	<input type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減	△ 2,510 千円
備考					

(島原温泉観光協会補助金)